

14	みどりの食料システム戦略推進交付金のうちグリーンな栽培体系への転換サポート	事業URL https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/green/index.html	問合せ先 農林水産省農産局技術普及課 03-3593-6497
----	---------------------------------------	--	---------------------------------------

関連する取組	事業実施主体(対象者)	支援対象・内容(ハード・ソフト)	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	令和4年度補正 令和5年度当初 予算(百万円)
スマート農林水産業	協議会、地方公共団体	ソフト	定額、1/2以内	—	随時	3,696の内数

趣旨・目的 みどりの食料システム戦略の実現に向け、農業生産における環境負荷低減の取組を推進するため、産地に適した「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する技術」を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換に向けた取組を支援する。

事業内容 グリーンな栽培体系への転換に向けた以下の取組を支援する。
【必須】 ①検討会の開催、②グリーンな栽培体系の検証、③栽培マニュアル・産地戦略の策定、④情報発信
【選択】 ①技術検証に必要なスマート農業機械等の導入、②消費者理解の醸成（消費者向けセミナー、農業体験等）

< 事業の内容 > < 事業イメージ >

農業生産における環境負荷軽減の取組を推進するため、各産地において、**グリーンな栽培体系への転換に向けた以下の取組の検討を支援**します。

- 産地に適した**環境にやさしい栽培技術**※、**省力化に資する先端技術等**の検証
 ※ 化学農薬・化学肥料の使用量の低減、有機農業面積の拡大、温室効果ガスの排出量削減に資する技術
- ①の検証に必要な**スマート農業機械等**の導入
- ①と併せて行う、**環境に配慮して生産した農産物に対する消費者の理解醸成**
- グリーンな栽培体系の実践に向けた栽培マニュアルの作成**
産地内への普及に向けた**産地戦略(ロードマップ)の策定**
- 栽培マニュアルや産地戦略の**関係者への情報発信**(HPへの掲載等)

検討会の開催：各産地の関係者による取組方針の検討等

検証に必要なスマート農業機械等の導入（選択）

グリーンな栽培体系の検証：環境にやさしい栽培技術＋省力化に資する先端技術等の検証

環境にやさしい栽培技術(例)					省力化に資する技術(例)	
化学農薬低減 生物農薬 化学農薬のみに依存しない総合防除	化学肥料低減 有機質肥料の使用	有機農業 堆肥散布による土づくり	温室効果ガス削減 中干し期間延長によるメタン削減	バイオ炭の農地施用 (果樹選定枝の炭化)	生分解性マルチ	ドローン
					リモコン式草刈機	水管理システム

< 事業の流れ >


グリーンな栽培マニュアル、産地戦略(ロードマップ)の策定

消費者の理解醸成(選択)

産地戦略に基づくグリーンな栽培体系の普及・定着

- ・売り場での情報発信
- ・消費者向けセミナー開催
- ・農業体験 など



15	日本版MaaS推進・支援事業	事業URL https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000193.html		問合せ先	国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課 03-5253-8980		
関連する取組	事業実施主体 (対象者)	支援対象・内容 (ハード・ソフト)	補助率等	公募時期	事業要望 調査時期	令和5年度 当初予算(百万円)	
地域交通	都道府県もしくは市町村（以下「地方公共団体」）、地方公共団体と連携した民間事業者又はこれらを構成員とする協議会	ハード・ソフト	1/2以内 1/3以内	4月頃		55	
趣旨・目的	新たなモビリティサービスであるMaaS（Mobility as a Service）の全国への普及を推進し、地域や観光地の移動手段の確保・充実や公共交通機関の維持・活性化等を図る。						
事業内容	地域におけるMaaSの実装や、MaaS実装に不可欠な交通事業者のデジタル化等の促進に関する取組を支援。						

MaaSの実装・連携

● エリアや事業を超えたシームレスな移動を実現するMaaSの実装

- 広域での連携を目指す取組や、マイナンバーカードの活用等幅広い事業者の連携を可能とする取組を重点的に支援。
- エリアや分野を跨いだ連携基盤の構築を目指し、必要な前提条件や要件・機能等を整理。

● 新モビリティサービス事業計画の策定、評価に取り組む事業者への支援

九州における広域MaaS（同一PF/アプリ基盤の導入）



<取組事例>

左：九州全域において、同一PF・アプリ基盤を導入することで、シームレスなMaaSサービスを広域で提供。

右：前橋市において、マイナンバーカードと交通系ICカード連携による市民認証機能を実装し、公共交通の市民割引等を提供。

MaaS実装に不可欠な交通事業者のデジタル化等の促進

● 交通情報データ化、混雑情報提供システム導入支援

- 地域内・広域でのデータ連携を実現するため、デジタル化が進んでいない中小事業者等の底上げ
- DXによる経営やサービスの効率化、高度化

● ICカードやQRやタッチ決済、顔認証等の新たな決済手段の導入支援

- 決済データ蓄積によりサービスの高度化を可能にするとともに、キャッシュレスによるシームレスな移動の実現

● AIオンデマンド交通の導入支援

● シェアサイクルや電動キックボード、グリーンスローモビリティ等の新しいモビリティの導入支援

